

「フレイル・老年症候群外来とフレイル健康チェック」

平素より大変お世話になっております。開院以来フレイル・老年症候群外来には多数の患者様をご紹介いただき感謝申し上げます。ふらつき、倦怠感、体重減少、転倒、食思不振、歩行困難といった老年症候群を訴えられる患者様を併存疾患だけでなく加齢による機能障害や社会環境の面から評価することで老年症候群の要因を特定し、栄養指導や当院併設のフレイルセンターでの運動指導、薬剤調整等により介入することで状態回復に努めております。フレイルは老年症候群と互いに影響し合うことが知られているため、その早期発見が重要です。当院でも岡山市のフレイル対策事業である「フレイル健康チェック」を実施しておりますので、フレイルが疑われる患者様にチェックを受けていただけます（毎週木曜午後）。当院はフレイルの早期発見・早期介入にも積極的に取り組んで参ります。

（高齢者総合診療科 部長 杉本）

1周年記念事業 病診連携懇話会

12月3日(火)午後7時より、1周年記念事業として、高齢者医療センター主催による「病診連携懇話会」を、フレイルセンターにて開催し、盛況のうちに終了しました。地域医療に熱心に取り組まれている先生方と当院の医師との連携を強めることを目的としたこの会は、岡山市内の病院や診療所から医療関係者38名にお越しいただき、温かな雰囲気の中で行われました。

懇話会では、参加者との交流を深めるため、当院全医師からの自己紹介と、それぞれの専門分野や取り組みについての説明がありました。その後、懇親会へと移り、食事を楽しみながら、当院への期待や希望、質問などがやり取りされ、実りある時間となりました。

地域医療との基盤を強化するためには、こうした顔の見える連携が不可欠です。参加者からは「色々話ができ高齢者医療センターをより理解するきっかけとなった」との声が寄せられ、今後のさらなる病診連携の発展につなげていきたいと思っております。

（患者診療支援センター）



病診連携懇話会の様子



認知症ピアサポート活動について ※本事業は岡山市の支援を受けて実施しています。

・昨年1月1日“共生社会の実現を推進するための認知症基本法”が施行され、“認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支えあいながら共生する活力ある社会(共生社会)の実現を推進する”ことが求められています。また、その手段として当事者参画が重要視されています。

・認知機能が低下した場合、就労が制限されて自尊心を失い退職を余儀なくされることが多く、その様な場合でも、個々の特性に応じた支援により、家庭や社会の中で役割を担い自尊心を回復することは可能であると思われます(新しい認知症感)。そこで当院では下記の3つを目的とした認知症ピアサポート事業を始めました。

- ① 認知症の人がその個性と能力を十分に発揮して、生きがいのある人生を送ること
- ② 認知症の人が家庭や社会の中で役割を担うことで、自尊心を持って地域で共生できるようにすること
- ③ 上記を実現するために認知症の人本人の発信の機会を拡大すること。

※ご利用は無料で診察も必要ありません。

※個別相談など受けてみたいという患者様がおられたらお気軽にご連絡ください。

川崎医科大学高齢者医療センター

認知症ピアサポート・家族ピアサポート

個別相談

(毎週火曜日午前)

ピアサポートとは？
ピアとは「仲間・対等」という意味を表す言葉です。
同じ想いや悩みを持つ当事者同士の交流の機会となります。

認知症と診断された不安を軽減したい

これから先どうなるんだろう？

本人同士だから話せることも

対象者：認知症の人とその家族
参加方法：事前申し込み必要
患者診療支援センター TEL ; 086-201-5280

川崎医科大学高齢者医療センター

認知症ピアサポート

本人ミーティング

(月1回 第3土曜日開催)


ピアサポートとは？
ピアとは「仲間・対等」という意味を表す言葉です。
同じ想いや悩みを持つ当事者同士の交流の機会となります。

本人同士だから話せることも

仲間に会うと元気になる

私もやってみようかしら？

参加方法：事前申し込み必要

	学校法人川崎学園 川崎医科大学高齢者医療センター 患者診療支援センター 〒700-0821 岡山市北区中山下二丁目1番80号 TEL 086-201-5280 (患者診療支援センター直通) FAX 086-225-2051	受付時間 平日 8:30~11:30 13:30~16:00 土曜日 8:30~11:30